

## 第8回日本語コミュニケーション研究会のお知らせ

来る3月1日に創価大学にて「第8回日本語コミュニケーション研究会」を開催致します。ご関心のある方はどうぞご参加ください。

---

### 第8回日本語コミュニケーション研究会

日時：2017年3月1日（水）9:30-18:30

場所：創価大学中央教育棟 AB103 教室（東京都八王子市）

主催：日本語コミュニケーション研究会

---

9:30-10:00

発表タイトル：「始動アスペクトを表す補助動詞に関する一考察—副詞との共起関係を通して—」

発表者：呉佩珣（筑波大学大学院生）

10:00-10:30

発表タイトル：「観光日本語における配慮表現」

発表者：岩崎透（筑波大学大学院生）

10:30-11:00

発表タイトル：「会話における述語省略表現の発話機能—「ば・たら・と・なら」節を中心に—」

発表者：杜曉傑（筑波大学大学院生）

---

<休憩 15分>

---

11:15-11:45

発表タイトル：「発話行為理論から見た文末の接続表現の用法—カラ・ケド・シを中心に—」

発表者：孫思琦（筑波大学大学院生）

11:45-12:15

発表タイトル：「賞賛で使用される「ながら」と「つつ」に見られる特徴について」

発表者：市川真未（創価大学助教）

---

<休憩 90分>

---

13:45-14:15

発表タイトル：「実は」の機能に関する一考察」

発表者：宮原千咲（創価大学助教）

14:15-15:00

発表タイトル：「ナンカの再定義性とその使用効果」

発表者：大和啓子（群馬大学講師）

15:00-15:45

発表タイトル：「てやる」構文について」

発表者：李奇楠（北京大学副教授）

---

<休憩 15 分>

---

16:00-16:45

発表タイトル：「日本語の繰り返し表現と意味の派生」

発表者：牧原功（群馬大学准教授）

16:45-17:30

発表タイトル：「日本語に見られる配慮表現の発想について」

発表者：小野正樹（筑波大学教授）

17:30-18:15

発表タイトル：「日本語配慮表現における慣習化と語彙リストについて」

発表者：山岡政紀（創価大学教授）

---

18:15-18:30 総括

19:00- 懇親会（JR 八王子駅前）

懇親会参加希望の方は 2 月 26 日（日）までに庶務担当：李夏菁までご連絡ください。既にアンケート等でご回答いただいている方は不要です。

---

連絡先

責任者：創価大学文学部 山岡政紀 myamaoka@soka.ac.jp

庶務担当：創価大学大学院生 李夏菁 e16m3104@soka-u.jp

---

なお、本研究会は下記の科研費研究課題の研究成果発表会を兼ねます。

平成 25-28 年度科学研究費補助金 基盤研究 (C) 研究課題番号 25370529

「発話機能の中軸とする日本語配慮表現データベースの構築」

(代表 創価大学 山岡政紀)

平成 25-28 年度科学研究費補助金 基盤研究 (C) 研究課題番号 25370576

「日本語の配慮表現に関する学習者コーパスの作成と対照研究」

(代表 群馬大学 牧原功)

平成 27-29 年度科学研究費補助金 基盤研究 (C) 研究課題番号 15K02630

「「言い換え」に関する語彙・表現の基礎的研究」

(代表 筑波大学 小野正樹)

---